

The logo for JMDC, consisting of the letters J, M, D, and C in a bold, black, sans-serif font.

JMDC

A background network diagram with various nodes (green and grey) and connecting lines, primarily concentrated on the left side of the page.

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社JMDC

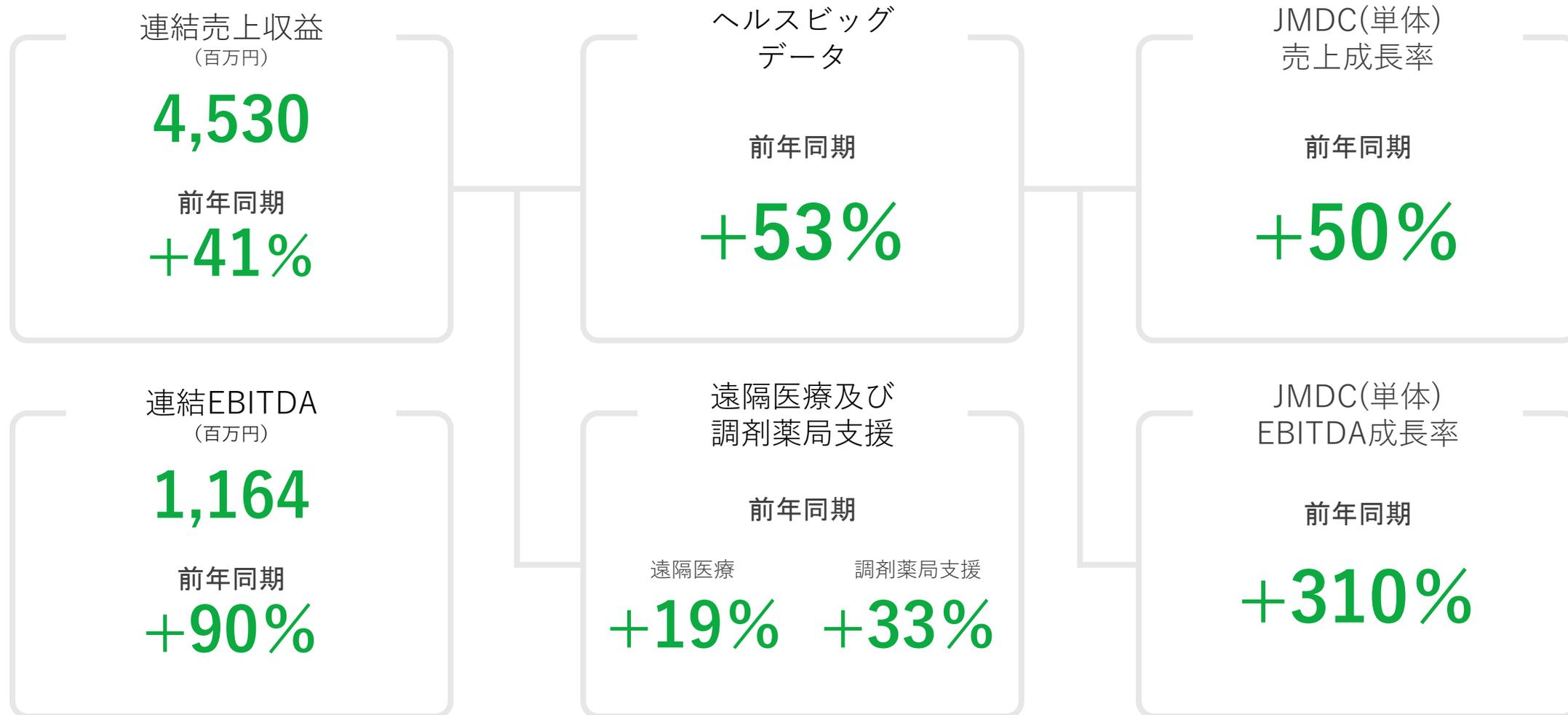
2021年8月5日

Section 1

2022年3月期 第1四半期業績報告

2022年3月期 第1四半期：業績ハイライト

ヘルスビッグデータ事業を中心にすべての事業セグメントが順調に成長しました。また中核であるJMDC単体業績が拡大を牽引しています。



2022年3月期 第1四半期：連結業績サマリー

インダストリー（製薬企業・生損保など）向けを中心にデータ需要が大きく拡大しています。他方、大きく見積もっていた人材採用は、獲得競争が苛烈を増したことで想定よりも進まず、その結果Q1期の利益は大きく残る形となりました。

(単位：百万円)	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	前年同期比
売上収益	3,212	4,530	+41%
営業利益 (率)	357 (11%)	826 (18%)	+131%
税引前利益 (率)	352 (11%)	809 (18%)	+130%
親会社の所有者に 帰属する利益 (率)	235 (7%)	540 (12%)	+130%
EBITDA (マージン)	614 (19%)	1,164 (26%)	+90%

Note: IFRSベース

EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用、EBITDAマージン：EBITDA÷売上収益

(参考) 2022年3月期：上期業績予想に対する進捗状況

利益項目を中心に上期計画に対し高い進捗率となりました。

(単位：百万円)	22年3月期 第1四半期	22年3月期上期計画	進捗率
売上収益	4,530	9,000	50%
営業利益 (率)	826 (18%)	1,250 (14%)	66%
税引前利益 (率)	809 (18%)	1,200 (13%)	67%
親会社の所有者に 帰属する利益 (率)	540 (12%)	800 (9%)	68%
EBITDA (マージン)	1,164 (26%)	2,100 (23%)	55%

Note: IFRSベース

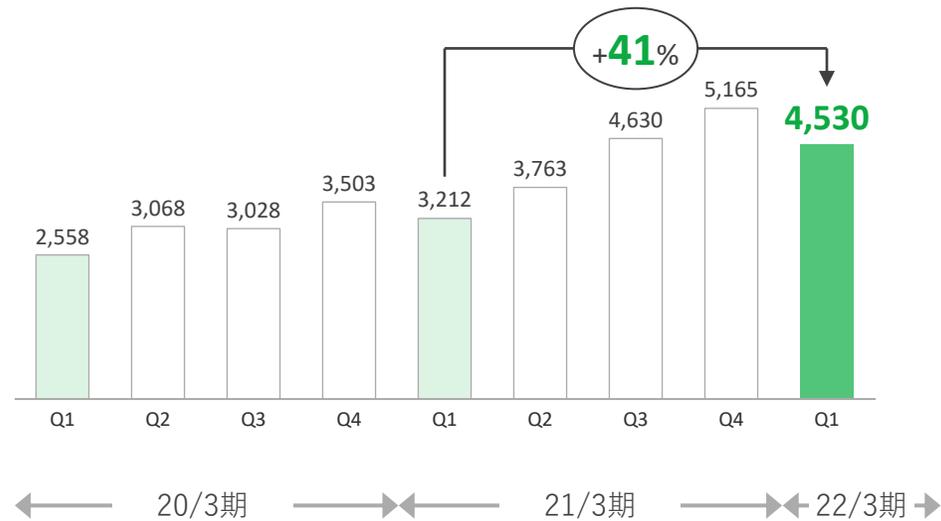
EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用、EBITDAマージン：EBITDA÷売上収益

2022年3月期 第1四半期：連結売上収益/EBITDAの状況

季節性から例年需要が弱いQ1期においても、今期は順調に収益をあげることができました。また固定費の増分を上回る形で業績が拡大したことで、高い収益性につながりました。

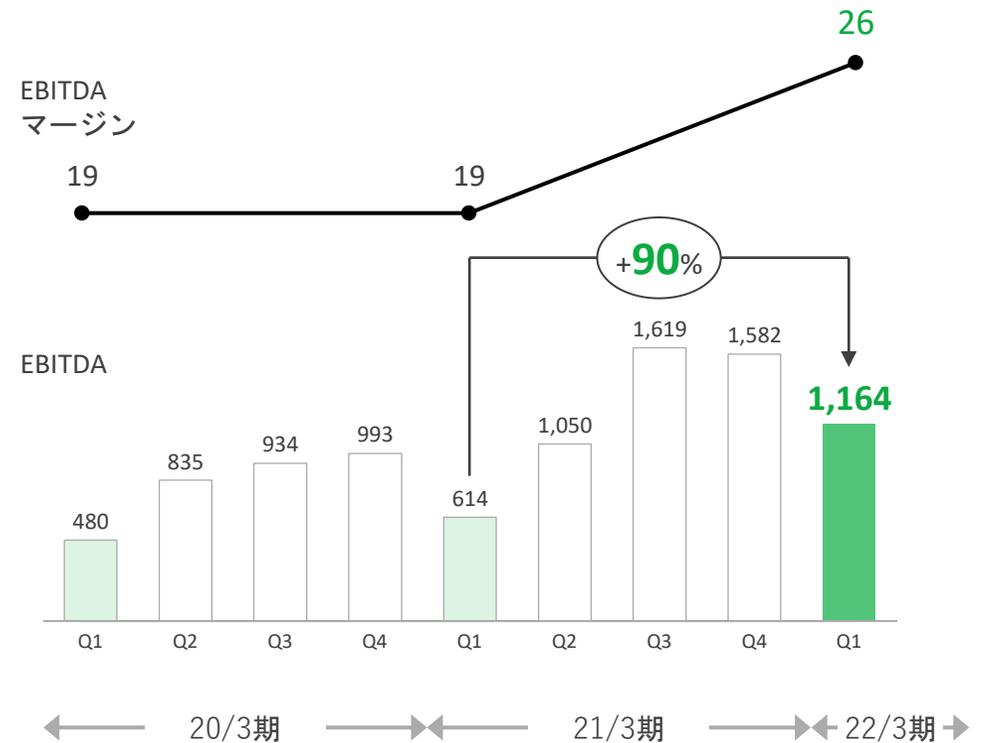
連結売上収益 四半期推移

(単位：百万円)



連結EBITDA/マージン 四半期推移

(単位：百万円, %)



Note: IFRSベース
EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用、EBITDAマージン：EBITDA÷売上収益

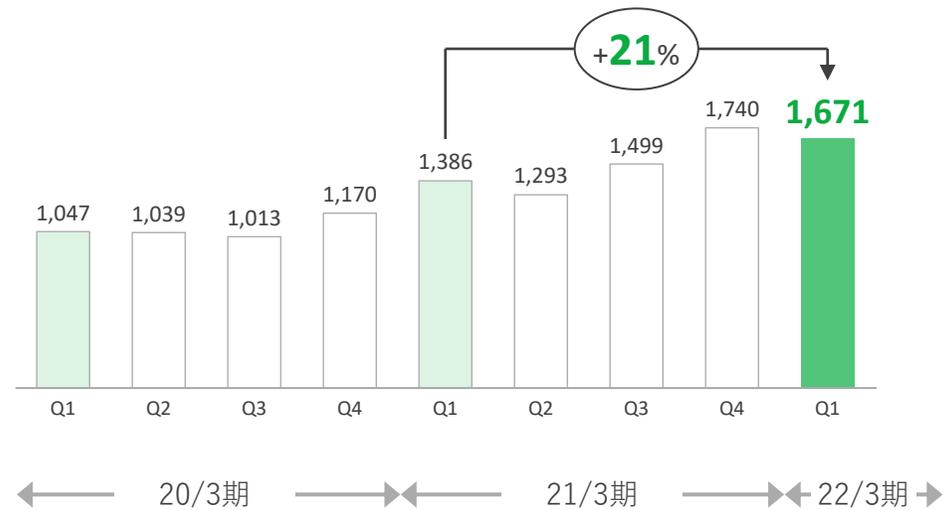


2022年3月期 第1四半期：連結販売管理費/人員の状況

急速に拡大する事業機会を取り込むため積極的な人員増強を図っておりますが、前述のとおり優秀な人材の獲得競争は過熱しており計画通りの採用には至っていません。なお足元の人員増は、調剤薬局支援事業におけるM&Aによるものです。

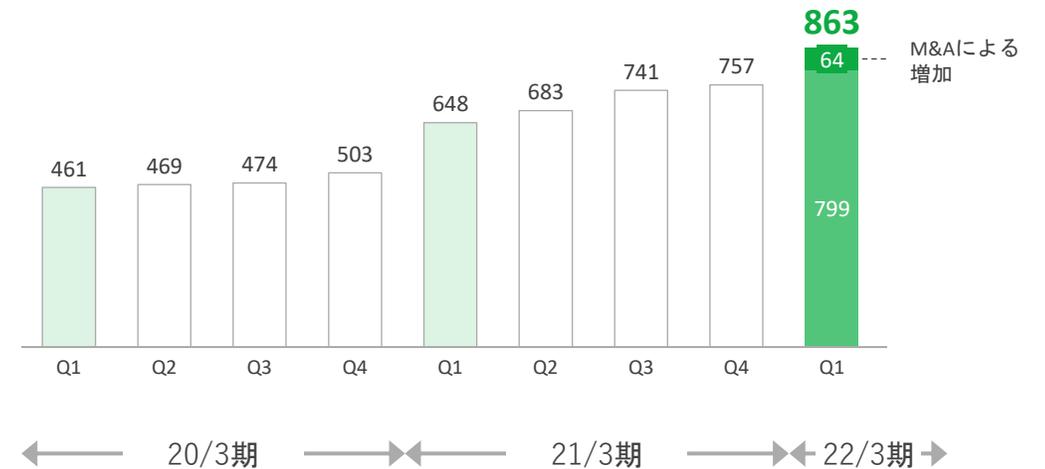
連結販売管理費 四半期推移

(単位：百万円)



連結人員数 四半期推移

(単位：人)



2022年3月期 第1四半期：セグメント別業績

新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越え、全てのセグメントが売上・利益ともに順調に成長しました。
とりわけ、ヘルスビッグデータの成長率が依然として高い水準にあります。

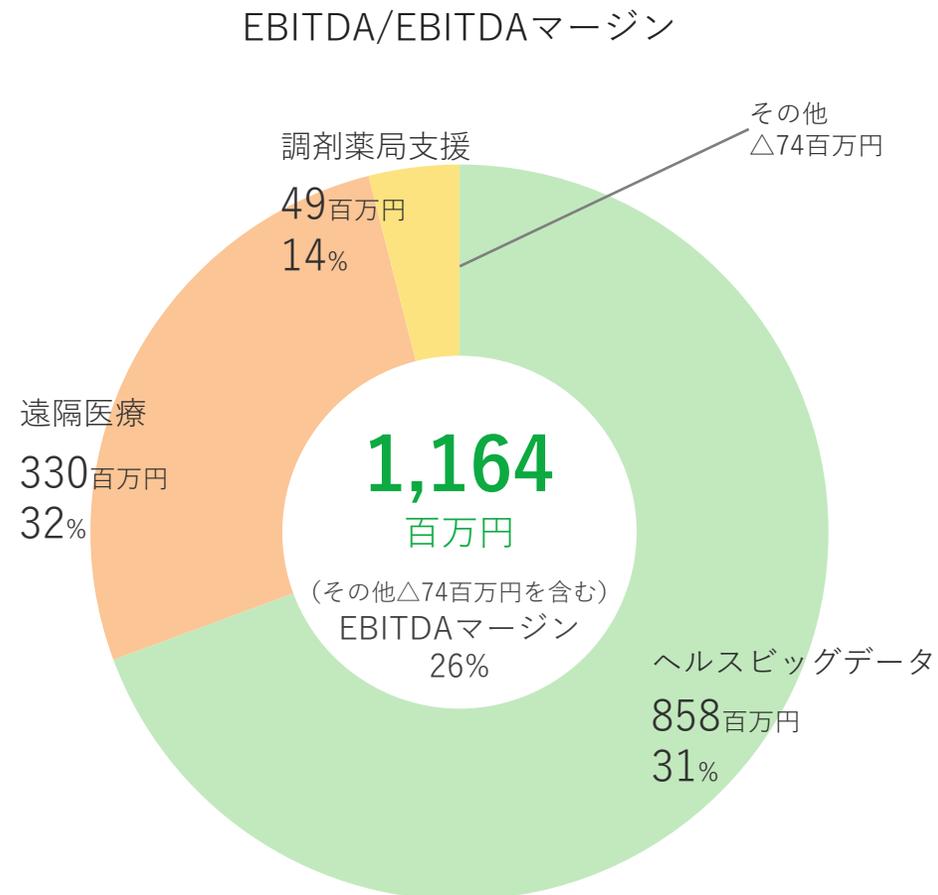
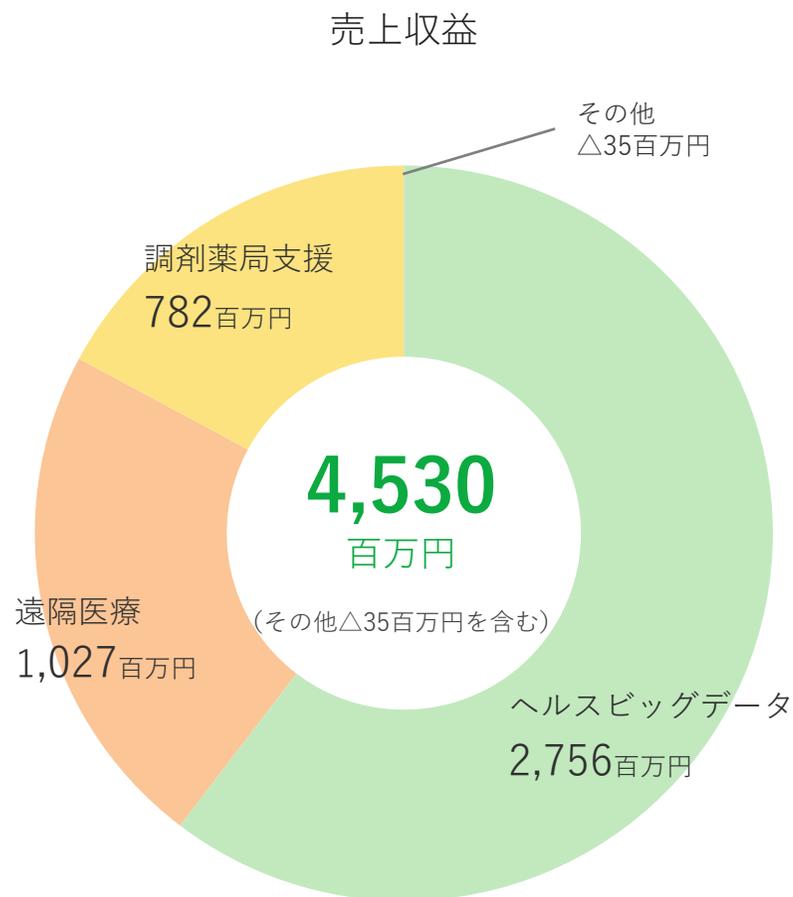
(単位：百万円)		21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	前期比
ヘルスビッグデータ	売上	1,798	2,756	+53%
	EBITDA	406	858	+111%
	(マージン)	(23%)	(31%)	
遠隔医療	売上	861	1,027	+19%
	EBITDA	231	330	+43%
	(マージン)	(27%)	(32%)	
調剤薬局支援	売上	588	782	+33%
	EBITDA	39	49	+26%
	(マージン)	(7%)	(6%)	
調整額	売上	△35	△35	-
	EBITDA	△63	△74	-

Note: IFRSベース

EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用、EBITDAマージン：EBITDA÷売上収益

(参考) 2022年3月期 第1四半期 : セグメント別売上収益/EBITDA

ヘルスビッグデータが当社グループの売上6割超、EBITDA7割超を創出しています。



Section 2

ヘルスビッグデータ事業

ヘルスビッグデータ事業：業績

売上収益/EBITDAともに力強い成長を続けています。

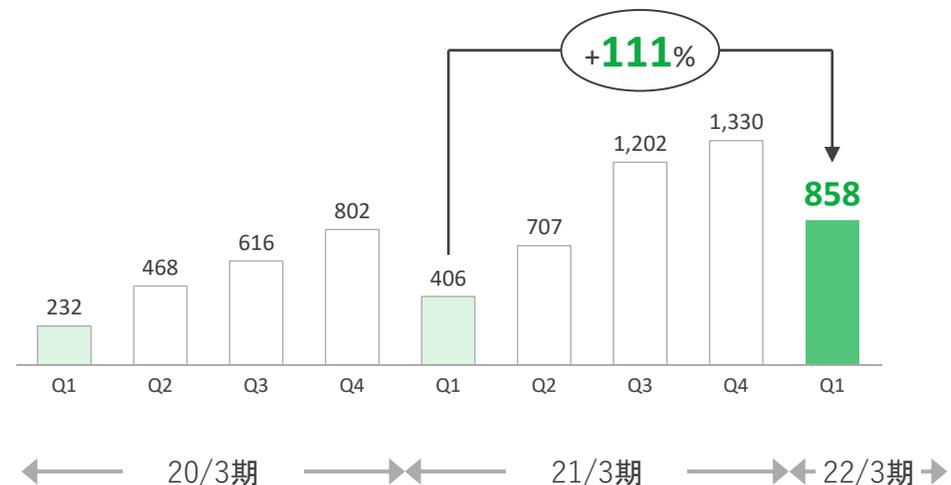
ヘルスビッグデータ事業売上収益 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)



Note: EBITDA : 営業利益 + 減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

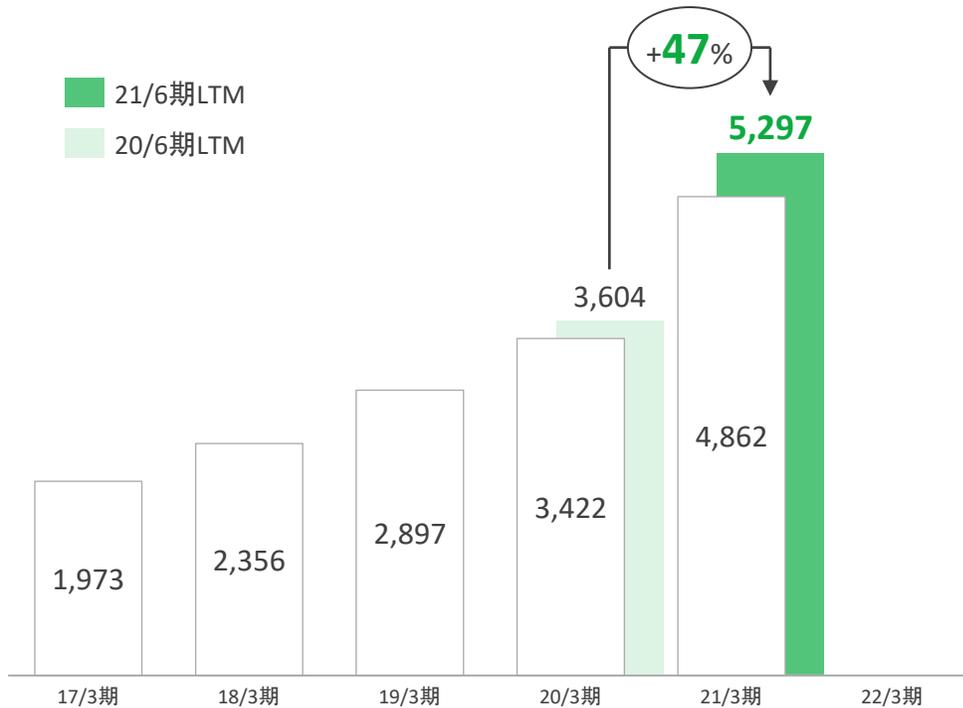


インダストリー向け：データ活用の事業状況

データ利活用の持続的な拡大により、全てのクライアントセグメントにおける取引額は引き続き拡大しています。

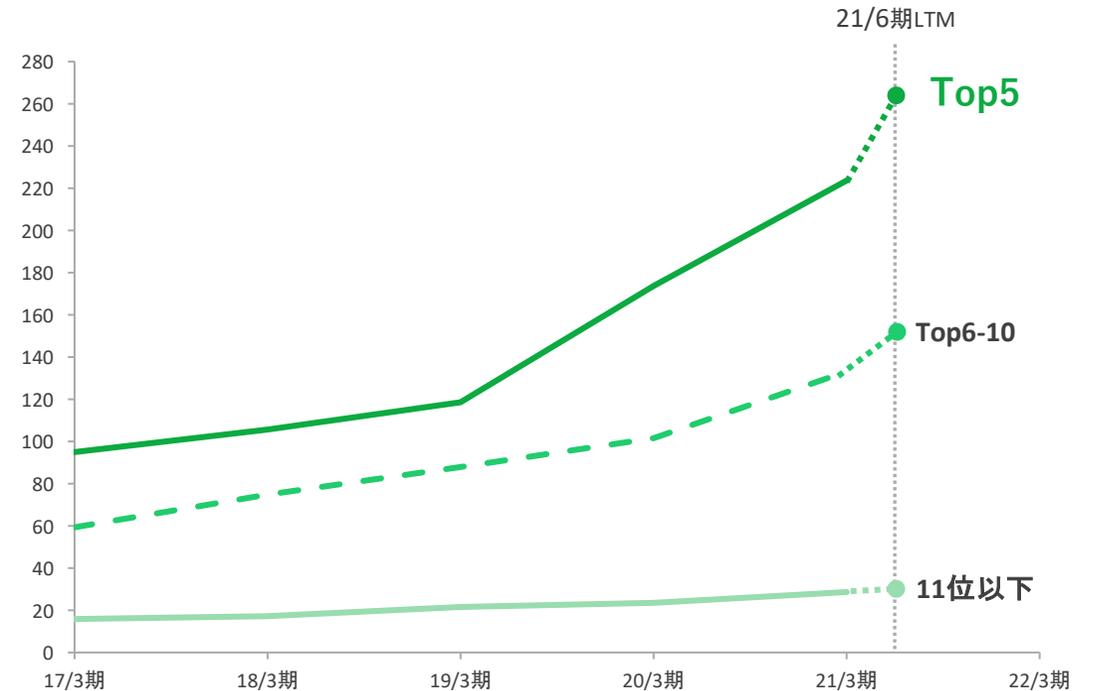
インダストリー向けデータ活用 売上

(単位：百万円)



クライアントセグメント毎の1社あたり年間取引額

(単位：百万円)



Note: Top5は各年度の取引額の上位5社、Top6-10は各年度の取引額の上位6-10社、11位以下は各年度の取引額の上位11社以降の取引額より算出。
LTM：Last Twelve Months (直近四半期から過去12ヶ月)

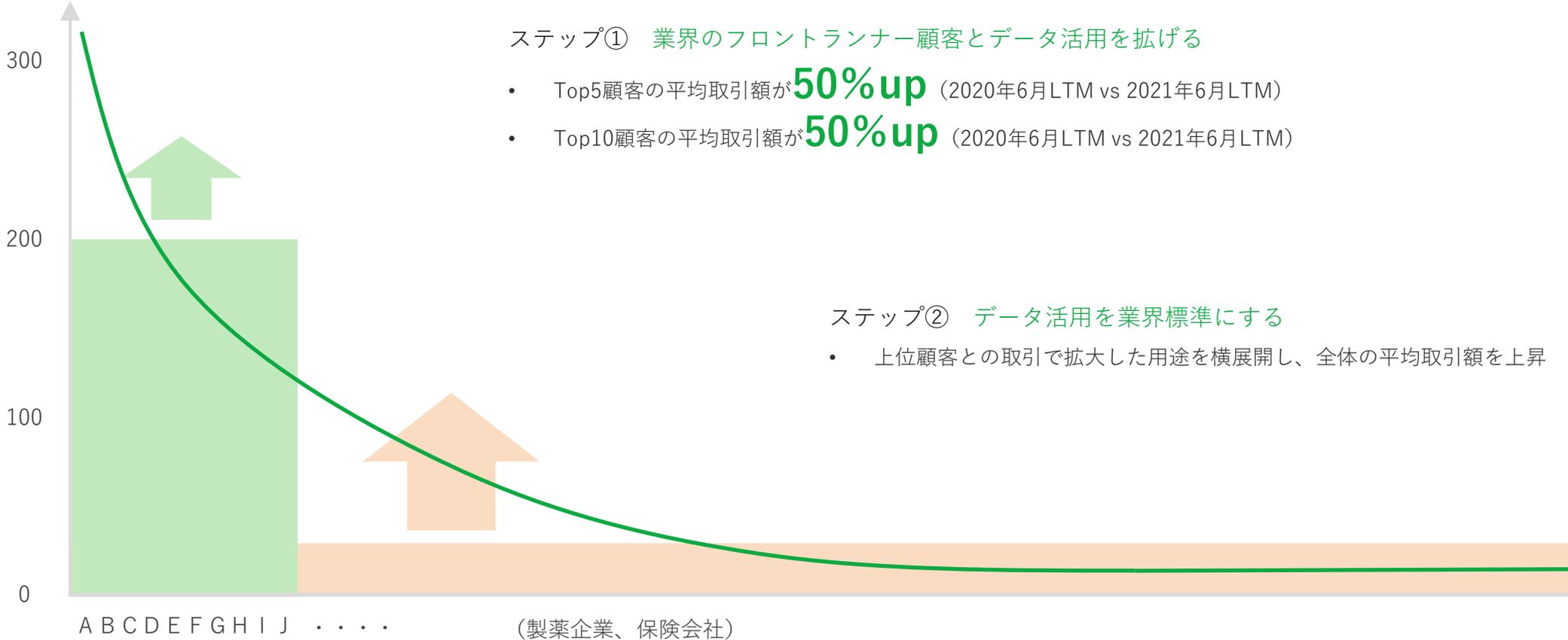


インダストリー向け：データ活用の事業方針

データ活用意欲の高い業界のフロントランナーとともにデータ活用の可能性を広げ、それが業界スタンダードになっていく世界を目指していきます。

(単位：百万円)

製薬企業・保険会社の顧客1社あたりの年間取引額



Note: グラフはイメージ。

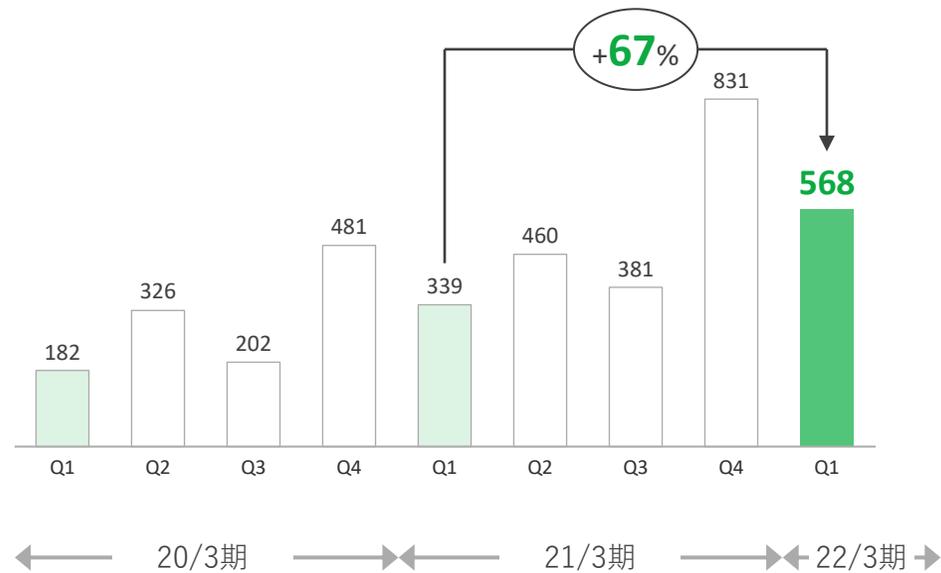


保険者・生活者向け及び医療提供者向け：事業の状況

データ基盤強化の先行指標である保険者・生活者及び医療提供者との取引も順調に拡大しています。

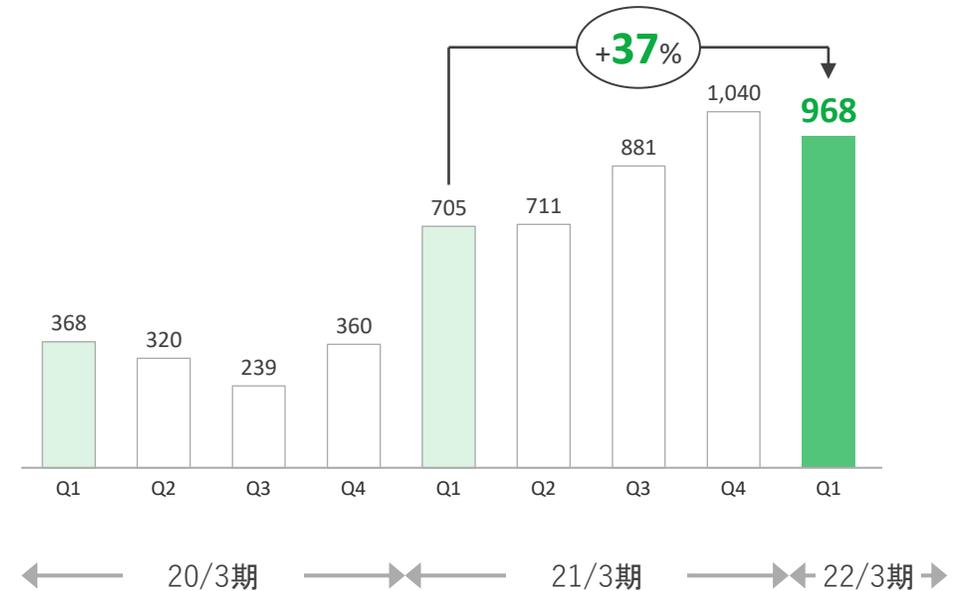
保険者・生活者向け事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



医療提供者向け事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



Section 3

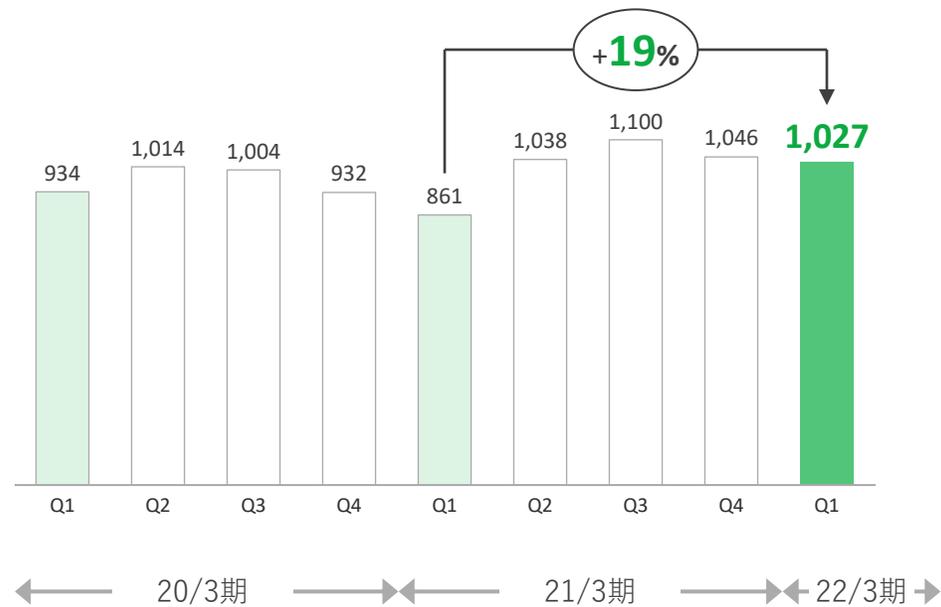
遠隔医療事業及び調剤薬局支援事業

遠隔医療事業：業績

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が一部で続いておりますが、強固な需要に支えられ業績は緩やかに回復しています。また、前期に実施したオペレーションの改善が常態化したことにより、収益性は高まりました。

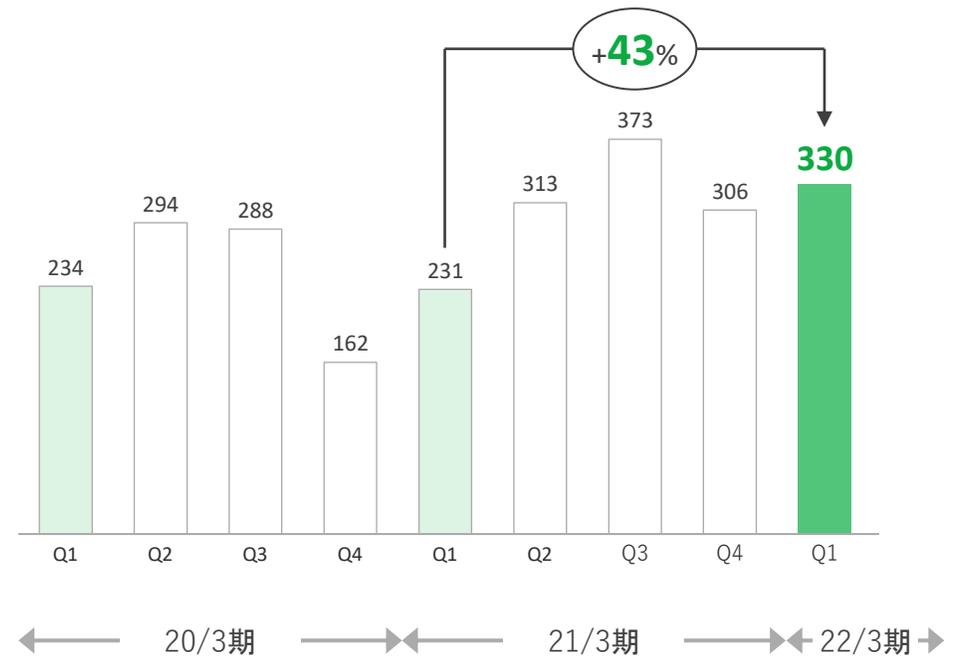
遠隔医療事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)

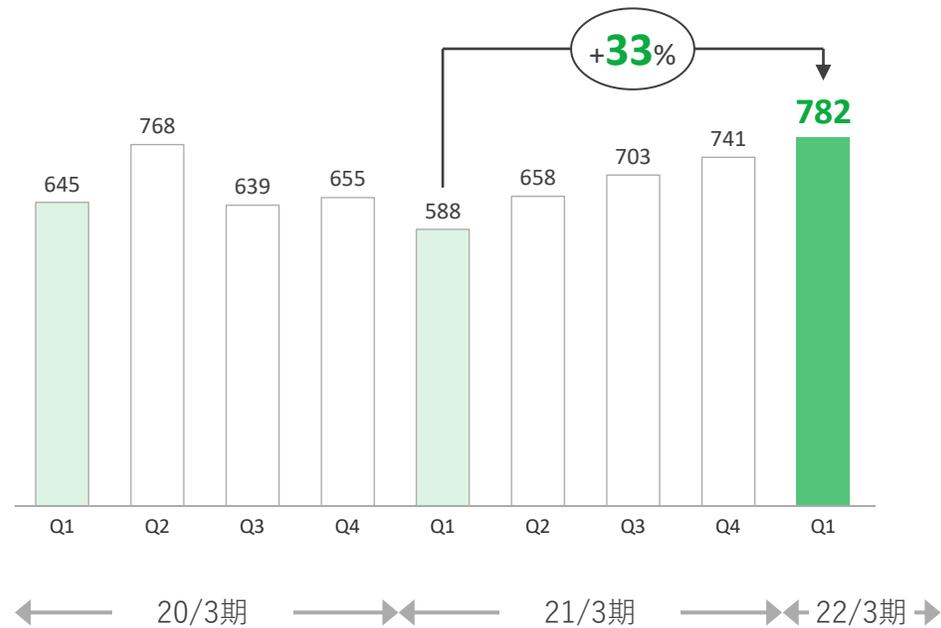


調剤薬局支援事業：業績

顧客である調剤薬局の投資抑制の影響を未だ一部受けているものの、次世代の電子薬歴レセコン一体型システム「P-CUBE n」の販売開始とM&Aにより、事業規模が拡大しました。

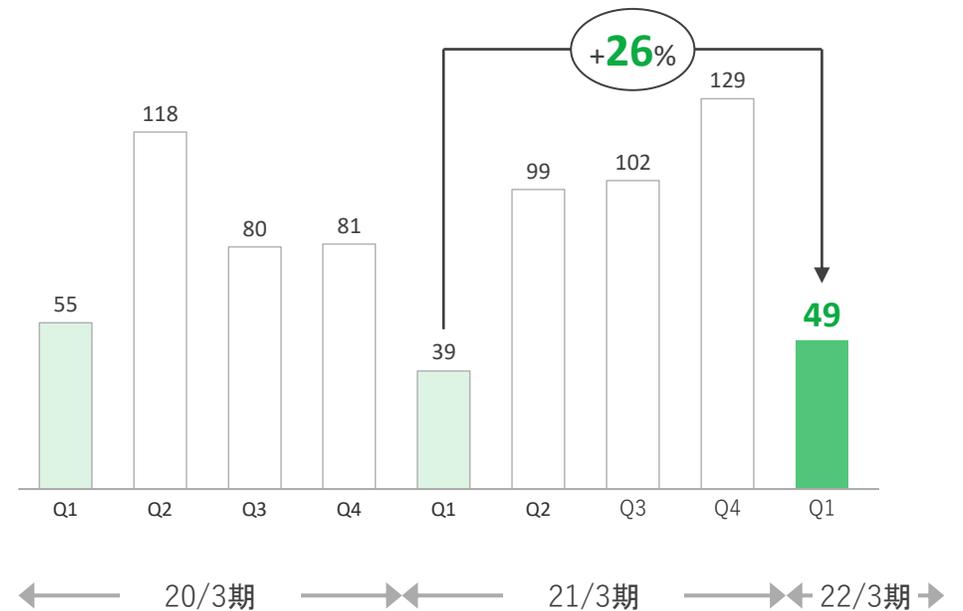
調剤薬局支援事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)



Note: EBITDA : 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± その他の収益・費用



Appendix

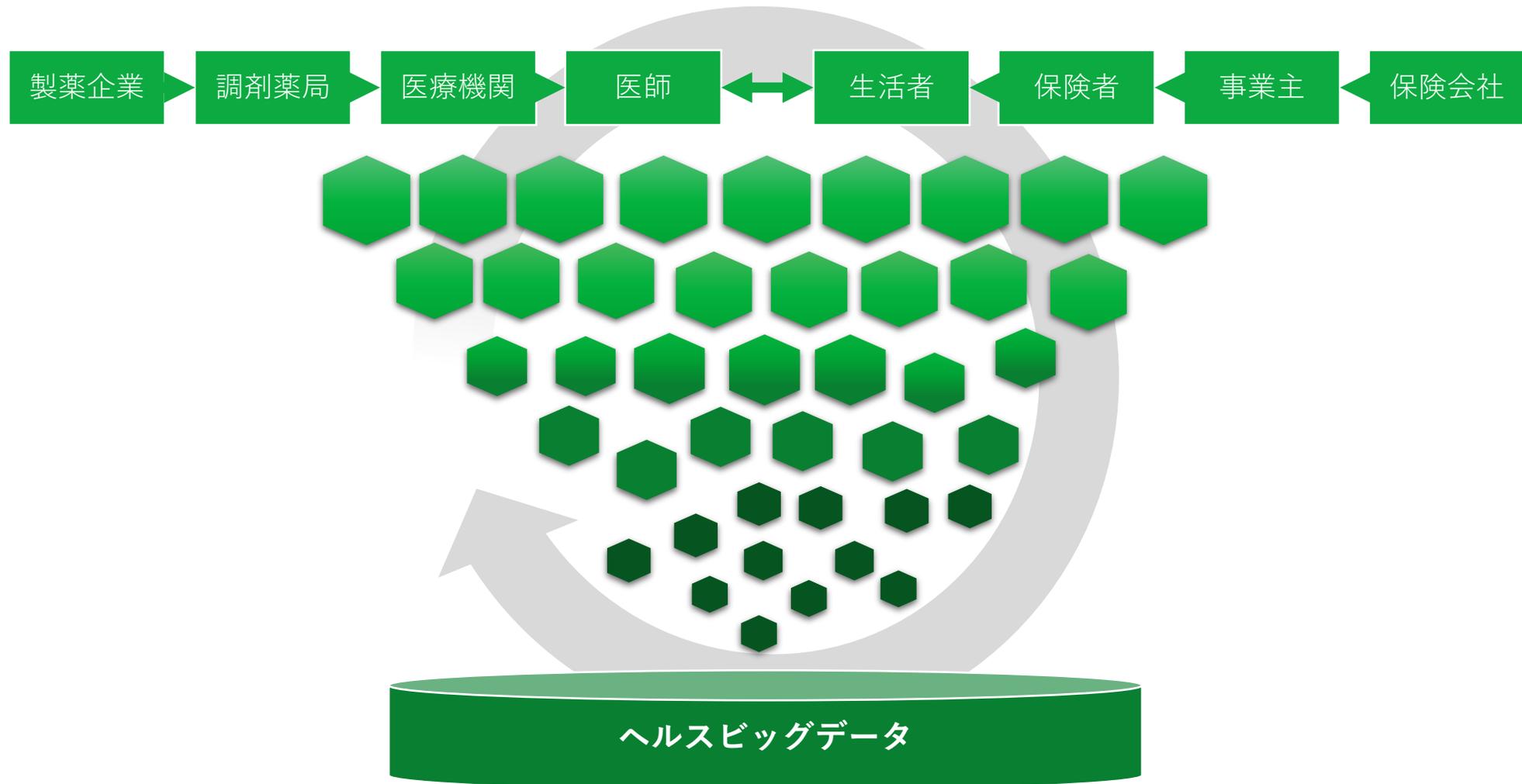
事業展望

「健康で豊かな人生をすべての人に」

データとICTの力で、
持続可能なヘルスケアシステムを実現する

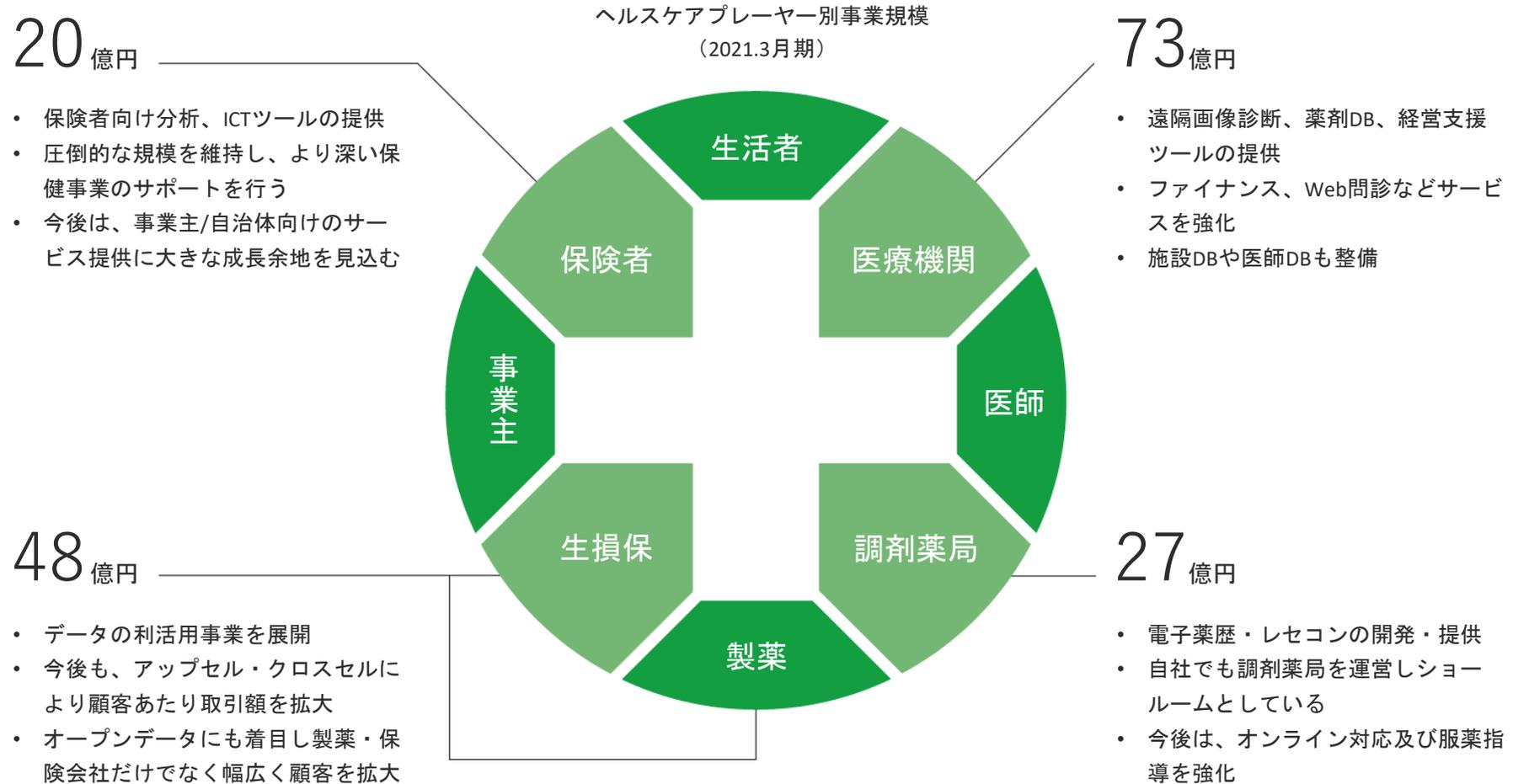
ヘルスケア領域でのデータ整備

医師と生活者の間で最適化された医療を実現するため、日本のヘルスケアの全ての領域におけるデータ環境を構築し還元していきます。



顧客別の事業のバランス

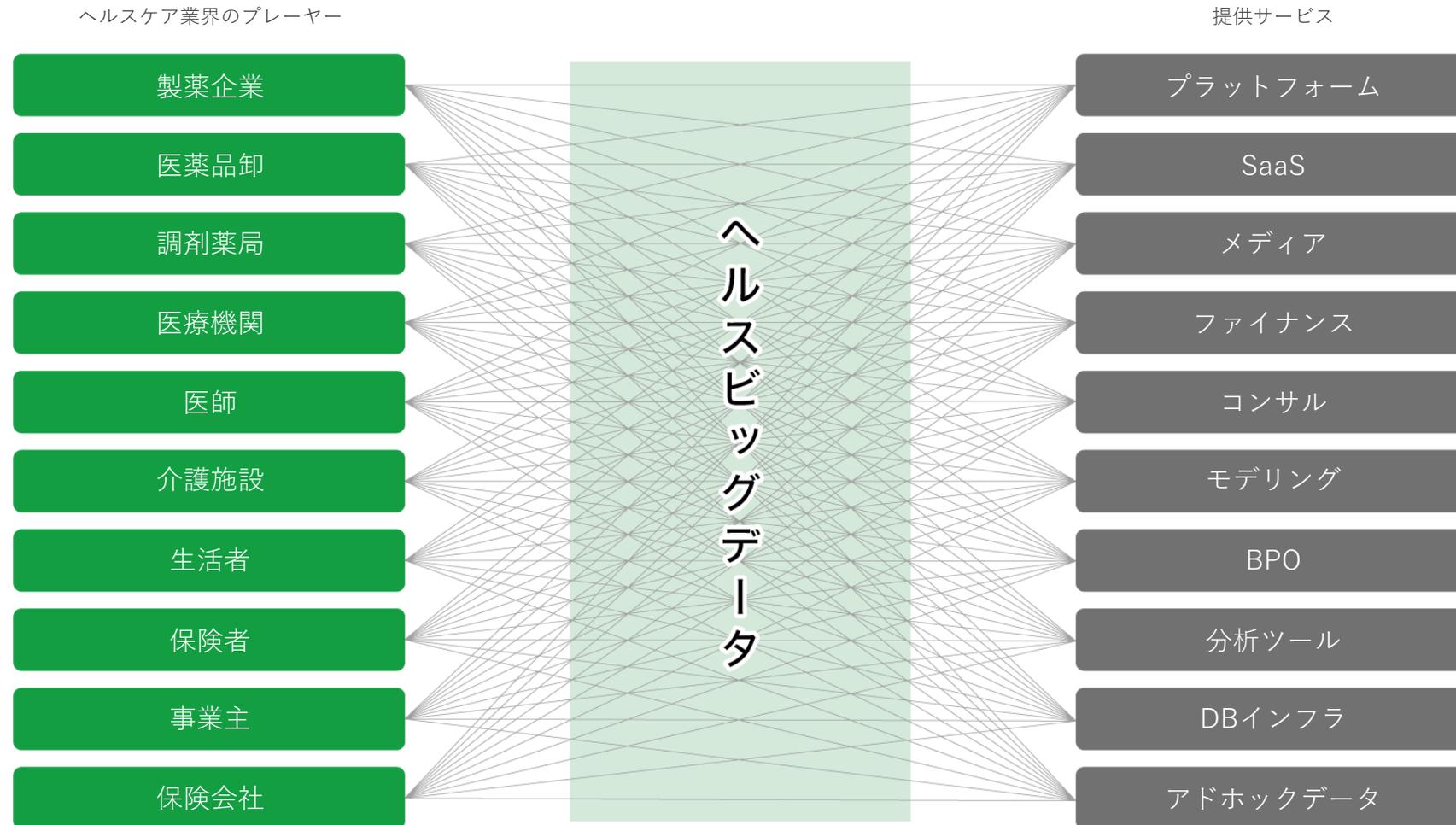
データによる多様な事業創出により、あらゆるヘルスケアプレーヤーからバランスよい事業を実現できています。



Note: 事業規模は経営管理上の単純合算数値であり、IFRS調整額及びセグメント内取引調整額を調整していません。

JMDCグループの事業の広がり

これからもヘルスケア業界のプレーヤーに対しデータを活かした各種サービスを提供し、それに基づく新たなデータを蓄積・次のサービスの創出のサイクルにつなげていきます。



本資料は、株式会社JMDC（以下「当社」といいます。）及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競業、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。また、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。



J M D C